

タウンミーティング あったかいまち「ふじみ野」を目指して

日 時 平成27年8月4日(火) 午後7時～8時30分
場 所 亀居分館（亀居町会）
天 気 くもり
参加者 13人



主な意見等

参加者 地域的に防災のスピーカーの音が聞きづらく、そういった意見が結構ありました。室内だけでなく、外にいても聞き取れないという意見がありました。可能であれば大井総合支所や消防署のスピーカーを利用して地域に知らせる仕組みができれば望ましいのではないかと思います。

市 長 ご意見として担当に伝えさせていただき、少しでも改善を図りたいと思います。

参加者 以前、大井清掃センターを見学したことがあり、ごみについて関心が持てて有意義でした。年に何回か一般の人にこのような機会を提供することが有効なのではないでしょうか。清掃センターは大変な労力とコストがかかっている施設ですが、その意義は良く理解されていないように思います。実際に施設を見学することでイメージが湧きやすいのではないのでしょうか。

市 長 まさにその通りです。清掃センターでは市民の方の見学を受け入れています。むしろPRしてもっといろんな方々に見てもらった方がいいと思います。清掃センターを見て、ごみの分別について理解し

てもらえば効果があります。いま建設中の新しいセンターはその辺を重視して作っておりますので、各町会の方々にPRしていきたいと思えます。

参加者　　大井町のころは役場から施設見学のためのバスが出ていて、参加人数も多かったです。今は現地集合です。そのため参加人数が少ないのではないのでしょうか。下水処理場はすごい施設で市民には大変興味深い施設だと思います。

町会ごとにバスをチャーターして見学会を行っているところもあります。しかし、ある程度の人数が集まらなるとバスのチャーター費用を考えたときに割が合いません。町会ごとに話を聞いて人が集まるようならそのような企画をやるべきだと思います。

市　長　　おっしゃる通り、施設を見て、かかっているお金の額を知っていただき、「水道水を無駄にしてはいけないな」という思いなどを持っていただければありがたいです。例えば、1つの町会で大変であれば2、3の町会が協力して見学会を実施すれば費用負担も軽減することができます。行政としてもそのような新たなシステムを作ったときにそれに対して補助金を出すというのは考えられると思います。それによって市民の皆様が色々な意識を持っていただけるのであれば非常にプラスになると思います。ご提案は持ち帰って取り組みが可能かどうか考えていきたいと思えます。

参加者　　防災訓練の映像につきまして、高齢者の方が増えてきている中で、自宅で介護をしている方の救援体制について伺いたいと思えます。

市　長　　現在市では、要援護者のリストをつくり、個人情報保護法審査会に通しまして、非常事態の時には地域に開示していこうという取り組みを進めています。個人情報だから知らせたくないなどの理由でご自身が名簿に掲載されることを拒まれる方もいます。個人情報という壁が独り歩きしてしまっています。お年寄りの中には自分がリストに掲載されていることが周囲に知られることによって何か不利益を被るのではと考える人もいます。

しかし、いざというときにはご理解いただいて地域の方にお知らせすることが必要です。万が一の場合は町会や民生委員の方に情報

を開示できるような体制をとっています。いざというときの対応方法という、その次の問題はまだ残っていますが、これについては、地域の協力が一番重要だと思います。役所としても最大限、法律の壁に阻まれながらも何とかしていきたくないと取り組みを進めているところです。

参加者 書類は配られていますが、一人暮らしの方はこの要援護者のことについてよく分かっていないのではないかと思います。ケアマネージャーとかヘルパー事業所を通して事前説明があった方がいいのではないのでしょうか。私はヘルパーをしていて利用者の方から、要援護者についての質問などを受けますが、きちんと情報の使用目的などを理解した上で説明したいと思います。家族の方は同居していても丁寧に説明するのは難しいと思います。

市長 例えば、介護事業所にあらかじめ話をしておくなど、日頃、要援護者の方と関わってお話をする人々に対する情報提供は大事だと思います。書類が来たとしてもどこまで信用すればいいのかという問題があります。近年オレオレ詐欺などもあり市役所からの文書でも不安に感じられてしまいます。

参加者 市内の学校で、市民と子どもたちの学校の中における交流はあるのでしょうか

市長 学校ごとの違いもあり、中学校では一般の方を受け入れる文化祭はあります。

参加者 空いている教室もあるので、そこを利用して子どもたちと地域の人の交流が図れる場があればいいと思います

市長 これまではもちろん、これからさらに大切になる考え方だと思います。今でも大井西中学校と福岡中学校には一般の人が使うことができる部屋があります。先ほどお話しした大規模改修の時にも地域向けの部屋を増やしていこうという取り組みを進めています。以前、市議会議員を務めていたころに視察で訪れた金沢では、小学校で一つの部屋を開放してお年寄りのサロンをつかって、子どもたちは休

み時間に遊びに来られるようにしており、いい取り組みだと思いました。交流は本当に必要だと思います。核家族が増えている中で、おじいちゃんやおばあちゃんと接する機会がない子どもたちにとってもプラスですし、また、高齢者の方々にとっても子どもたちの活力に接することのできるいい機会だと思います。教育委員会では開かれた学校を目指しておりますので、私からも今日いただいた意見を伝えたいと思います。

参加者 今回のタウンミーティングの参加者が少ないです。どうしてみんな来ないのでしょうか。私も皆に声をかけましたが、行っただけしょうがないという風潮があります。市民には言いたいことはあると思います。もうちょっとふじみ野に皆さんの意識が向いてほしいと思います。

次に、三芳にはイムスと上福岡には中央病院という比較的大きな病院があります。この近くにはありません。新しくできればいいなと思いますが、それは無理かもしれません。上福岡駅から総合病院までバスが出ていますが、もし無理ならこの近辺から病院まで行けるバスを出してほしいと思います。循環バスのルートに病院を入れるのも一案ではないでしょうか。

市長 ご意見にあるバスは、病院が運営しているものです。今、法定協議会を作ってバス路線の見直しを図っています。循環バスは毎年3千万円の赤字を出しています。もったいないです。旧大井町の議会の中でももったいないという意見が出ていました。タウンミーティングの中でいただく意見は有料でもいいからもっと便利にして欲しいものが圧倒的に多いです。そのような中で見直しを図っています。民間バスも採算が合わないとやめてしまいます。採算が合わないと病院ですら撤退してしまいます。この地域に大きい病院を作れば一番いいのですが、なかなか難しいです。上福岡総合病院は今増築をしています。せめて上福岡駅までの交通手段を確保し、そこから病院のバスに乗っていただけるような少しでも便利な状況にできればと思います。

また、このタウンミーティングに人が集まらないという話につきまして、適切な時期や時間、曜日など色々な課題がございます。また、町会に回覧をお願いして開催をお伝えさせていただいているの

ですが、回覧を流す時期とタウンミーティングを実施する時期の間隔の問題もあります。また、タウンミーティングに行ってもあまり話を聞いてもらえないのではないかと考える方もいらっしゃると思います。もう少しこの地区に目を向けてほしいと考えられている方もいらっしゃると思いますが、東地域でも同じような意見をいただいています。

参加者 公共施設安全点検の日について教えていただきたいと思います。

市長 プール事故のあった7月31日を安全点検の日として定めています。通常も安全安心な行政運営に力を入れておりますが、7月25日から31日までの一週間は施設ごとに基本と個別のマニュアルをつくって点検しています。また、市の経営戦略会議の中で今年度の安全点検については、通常の点検以上に高齢福祉課などの施設をもたない課についても、事務の運営方法やロビーの筆記台の高さなど市役所の窓口の状況を含めて点検をするようにという指示を出しました。

マンネリ化が一番良くないと思います。プール事故を二度と起こさないという思いを全職員が持つということを肝に銘じ点検するようにと指示をしました。